

滑稽新聞社

7444-0103 愛知県額田郡幸田町  
大字大草字新屋敷(新井)63-1  
大亀の歩が長く続けられ、の号  
第338号 創刊1990年7月28日  
E-mail: kokkei1949@yahoo.co.jp

# 滑稽新聞

生さると言う事は  
目の前にいる人が一番  
喜ぶ言葉を出すこと  
言葉はその人が愛し  
た内容を通り運命  
をきたらう。人間  
とは、愛しい新婦と  
新「喜ぶ所」に集  
まる本質を持つとい  
えます。言葉は人格は  
んどす。坂田道信

## 滑稽新聞満30歳に

転勤で東京住いと  
なり、改綴の両親宛に  
「祐天寺、だよ」と発行し  
て送った。それが下敷き  
になって、ひとり新聞を作ら  
う」となった。猛暑にも  
戸にも、又妻の不満にも  
ひるまず、「道楽」へ火を点  
け、**「酒と女は2号(合)**  
まで」と言う洒落がある  
が、2号では終わらなかつた。  
それどころか、「石(意志)」の  
上に「さる」の心算を、さら  
と重ねた。記事が「いと新  
聞はごまさない、会社と家の往  
復だけではネタは尽かない。自  
と」出たが「せりたがり」のさ  
た「り」と言う性癖が「いた。  
**20年目の事件**は脚立  
からの落下事故、退職後の  
生活が一変した。「ホクくした

新滑稽新聞  
創刊1990年7月28日  
編集長 坂田道信  
発行所 愛知県額田郡幸田町  
〒444-0103 大字大草字新屋敷(新井)63-1  
電話 052-7444-0103  
FAX 052-7444-0104  
E-mail kokkei1949@yahoo.co.jp

新滑稽新聞  
創刊1990年7月28日  
編集長 坂田道信  
発行所 愛知県額田郡幸田町  
〒444-0103 大字大草字新屋敷(新井)63-1  
電話 052-7444-0103  
FAX 052-7444-0104  
E-mail kokkei1949@yahoo.co.jp

新滑稽新聞  
創刊1990年7月28日  
編集長 坂田道信  
発行所 愛知県額田郡幸田町  
〒444-0103 大字大草字新屋敷(新井)63-1  
電話 052-7444-0103  
FAX 052-7444-0104  
E-mail kokkei1949@yahoo.co.jp

20年(231号) 笑いに焦点を当てて来た | 10年(162号) 動かし難い言葉は世にない | 第1号の発行 この時住所は東京目黒区

ら本当に惚けてしまふ」とこれに言いつづけて  
笑いの探究と英語の勉強に傾注。お陰で未知  
の世界に視界が広がり、物とまぐ場面を繰返  
を繰り返した。日本笑い学会、尋常中興業校、語  
学留学、英会話、スノー等々、笑いが転じた。  
**人生いろいろ新聞も色々**2000年代  
になると一般新聞もカラー化に、吹けば飛ぶよう  
に当紙だが、読者に少しづつ「見映え」で楽しんでおらふと、カラー印  
刷に切り替えた。費用は増すが、所詮「道楽新聞」。中身の乏しい所を  
「色仕掛け」でカムフラージュした。  
今更にはこの人との出会いから始まった  
JAPAN鷹山会(※)で米沢市へ行く、東京に戻る電車の中、あの  
ハガキ道伝道者の坂田様と同席した。既にこの方の講演以来、複  
写ハガキを始め、その素晴らしさは身をもつて実感していた。  
「杉浦さん、アニタもひとり新聞やった  
らええよ。複写ハガキとひとり新聞  
は車の両輪だよ。これ続けたら人生  
が変わるよ」と言われた。この言葉を  
「天の声」の如く受けとめ、即「その気」になった。  
それから30年。坂田様の言葉通り、次々と  
貴重な出会いや交流、経験が自分の  
人生を形作って行った。坂田様との邂逅は笑  
に幸運で、正しく「一瞬早すぎず、一瞬遅  
過ぎない時」だったと、今しきり思う。



杉浦康司様  
おかげさまで、  
今や杉浦様の一人新聞は多くの  
文化人などに愛読されています。  
このおかげで、私もこの世に  
存在し、日々成長しています。  
お礼申し上げます。  
坂田道信

私の人生を大転機にした、大坂田道信氏と、頂戴ハガキ

\* 江戸時代中期取りつた江戸前だった米沢藩を大改革し再建した著者上杉鷹山。氏と尊敬する仲間が全国から参集、長崎の深沢清久発起。

